

製品包装とプラスチック

マネジメント情報

事業活動との関わり

不二製油グループでは、BtoBという事業特性上、油脂などをはじめとした多くの製品は、タンクローリー、1トンコンテナ、ドラム缶などによりバルク（大容量）輸送で納品しています。他方で、チョコレートやクリーム、固形油脂など一部の製品においては、外装をダンボール箱とし、その内装材にプラスチック製包装材を使用しています。プラスチック製包装材は包装材全使用量の2割程度です。プラスチックによる環境負荷については認識しており、削減の取り組みは必要であると考えています。

考え方

包装材には、主に食品安全上の品質保持、品質劣化防止、製品情報の提供という3つの役割があります。資源の枯渇やプラスチックごみによる海洋汚染などが危惧される中で、こうした役割を担保した上で、プラスチック製包装材のリデュース（薄膜化、軽量化、循環可能な材質への置換）、リユース、リサイクルによるプラスチック使用の削減に努めます。

推進体制

製品包装とプラスチックについては、グループ各社で取り組みを推進しています。また、不二製油グループ本社の生産性推進グループが、サーキュラーエコノミーや3R（リデュース、リユース、リサイクル）などの環境負荷低減施策や、石油製品の利用削減につながるプラスチック代替素材について、情報および活動内容を収集し、有用な情報については関係するグループ会社と共有しています。

具体的な取り組み

削減活動

不二製油（株）では、リサイクルパレットの購入や工場内で使用できなくなったプラスチック製パレットを再使用先に転売する取り組みを行っています。また、フジフレッシュフーズ（株）では、食品包装フィルムの材質を環境配慮型の再生PETフィルム（再生樹脂を80%使用）に置き換える取り組みを始めています。